

Q

おかしいぞ鶴ヶ島

高田 克彦 議員



A

十分な配慮で学力テストを公表

「全国学力・学習状況調査の結果公表を鶴ヶ島市と横瀬町だけが県内で実施。序列化、過度な競争危惧」と報じられている。
質問一 どのような経緯で公表を決めたのか。市長の関与は。
二 公表のメリット、デメリットをどう判断したのか。
三 この点へのおかしいぞ鶴ヶ島の声にどう応えるのか。

四 公表の内容について。
答弁一（教育委員長） 公表の目的は、学校が中心となって組織的教育活動を強化し、家庭・地域とのつながりを強め、子どもを育てる活動を進めることであり、校長会議や教育委員会での意見聴取を経て決め、市長に説明を行った。
二 メリットは、保護者や地域住民に説明責任を果たし、社会総ぐるみでの子育て活動の契機となること。デメリットは、過度な競争と学校の序列化だと言われている。
三 公表の方法、内容は、校長会議等で意見を聴きまとめ、保護者等に情報提供して理解をいただく。
四 調査結果の概要や考察、課題改善への方策や保護者へのお願いや等である。

◎その他の質問

一 東部保育所の廃止について
二 地域まちづくりセンターについて



東部保育所、南公民館、学力テスト

Q

公共施設利用計画について

高橋 剣二 議員



A

長期的な視点で適正な整備を目指す

質問一 公共施設利用計画策定に向けたスケジュールについて。
二 公共施設等の老朽化の状況や利用状況に対する考えは。
三 教育委員会や部、課の連絡、連携について。
四 一部事務組合で運営している上下水道の計画への関わりは。
五 第5次鶴ヶ島市総合計画との整合性について。
答弁一（市長） 市民意見交換会での意見を踏まえて夏頃までに素案を作成、議会への報告、市民コメントを経て、公表し、その後実施計画を策定していく。
二 昭和50年代の人口急増時に建築が集中し、築30年以上の施設が

76施設中26施設ある。稼働率は、おおむね30割台である。
三 学校教育施設の規模の最適化など、教育委員会と調整をしている。政策、財政、建築を中心に公共施設の在り方や財政見直しなどの検討をしてきた。今後も全庁的に共通認識を持ち、連携していく。
四 上下水道など一部事務組合所管の施設は計画の対象外であるが、今後の検討課題である。来年度以降の計画に反映していくことも検討する。
五 後期基本計画においても重点政策と位置付け、将来の鶴ヶ島らしい公共施設整備を行う。



鶴ヶ島市公共施設修繕白書